

一般社団法人 総社青年会議所 2021年度
理事長所信

一般社団法人 総社青年会議所
第55代理事長 中川 智史

敬天愛人

“人は人の為に生きてこそ人”

～はじめに～

「敬天愛人」かの有名な西郷隆盛が残した言葉の一つでございます。
意味としては、自分の主とするものに愛を持ち、行動すべき時は断固として行動をする。
そして、その行動は自分たちの利益や他人からの評価を求める所に達するのではなく、大義、
使命、天命といった所に達すると書かれています。

我々、一般社団法人 総社青年会議所の会員一人ひとりに於きましてもこの世に生を受けた一人として、自身の思い描く志、人として守るべき道徳心、自身の取り巻く環境に於いて果たすべき務め、そして、自身のあるべき姿はしっかりと見据えた上で自身の在り方、生き方、心の持ち方を人との出会いにより人生観を変えていける生き方をする事こそが一人ひとりの成長に繋がると考えます。

私は、総社青年会議所という学び舎に於いて学び、行動を起こした時に自身の人生が少し前より輝いていると感じてさせて頂いております。

2021年度、会員の皆様に於かれましては、地域に、家庭に、出会えた仲間、自分を支えてくれている方々、そして、何より自分自身にしっかりと“愛”を持った行動をとる事により、自身が成長をしていく道となりますので総社青年会議所が人々に魅力を放ち輝き続ける団体になる為に共に切磋琢磨して参りましょう。

～総務広報～

総社青年会議所に於いて組織運営を実施していく上で必要不可欠である委員会でございます。

我々が今後行うであろう事業に対してしっかりと吟味・精査して行く諸会議の開催、財務管理など組織全体を見渡し、そして、規律を守り、会員一人ひとりが大義を貫き運動・活動を行う事が出来るようしっかりとした組織運営に取り組んで参りましょう。

また、昨今はSNSの目覚ましい発展・普及に際しまして年代問わず多くの方々が情報入

手及び情報発信ができる時代の中で我々、総社青年会議所と致しましてもSNSを活用し広報活動をしてはいますが我々の知名度、存在は知られていない現実があると感じます。

昨今の広報活動において最大の武器になりえるSNSを用い発信する我々は、時代感覚を磨き、情報を受けとる皆様に対して心を掴む魅力的な情報発信に心がけて参りましょう。

また、紙面を用いたアナログの方法に関しましても能動的に情報発信が出来、また、テーマに関心のない方にも届けられると同時に、各家庭等にダイレクトにそして確実に広報・情報提供できるツールとして良い媒体だと感じます。SNS主流の昨今ではございますがこちらの手法も必要不可欠な広報ツールだと考えます。

多種・多様な広報ツールを用いて、総社青年会議所を発信していけるよう頑張ってお参りしましょう。

～地域みらい共創～

我々は地域の経済を発展させる使命を持った青年経済人であり、総社圏域に明るい豊かなまちの創造と実現に寄与する団体だと考えます。

常日頃、我々を支えてくださる家族・社員・友人等が幸せに住み暮らす地域、総社圏域をよりよくしていく為にはまちづくりのできる“人財”に会員各々が必要だと考え、まず、当事者意識を持ち、自ら地域をよくしていこうと考え行動に移す事、その為に何事も乗り越えていくとゆう強い意志、心を養って行く必要があると考えます。

また、我々の住み暮らす地域社会を担う子どもたちに対して、ここ近年インターネット社会の革新的な進歩により、子どもたちは簡単に情報や知識を得られるようになり、自分で考える事のしない子や情報過多により、情報を先に知る事で起こる行動力低下が問題だと感じます。

これからを担う子どもたちには、各々が外に出ていろいろな体験をし、子ども同士仲を育む事で得られる知識を身に付け、豊かな人間性を育めるような青少年の健全育成に取り組んで参りましょう。

そして、より良いまちの為に地域の子どもの為に注いだ時間を自身の成長に変え、行政、企業、他団体、市民をしっかりと巻き込み、地域のみらいを共によりよくなるために創造・実現して参りましょう。

～会員拡大～

我々の学び舎である総社青年会議所を存続させる為、また、総社圏域に明るい豊かなまちの創造と実現の為、会員の拡大は急務でございます。

昨年は、会員獲得には成功はしておりますが、現状と致しましても会の存続も危ぶまれる状況は続いております。

時には互いに高め合い、時には背中を押してくれた一生涯の友人との出会い、かつこいい背中、良き手本を示してくれた先輩方との出会いそして、多くの方々との人脈形成の機会を

与えてくれる場でありまた、青年経済人にとって個の資質向上に繋がる多くの学びを得られる事のできる、そんな総社青年会議所を途絶えさせてはならないと私は切に思います。

会員拡大に対しては、会員一人ひとりが問題意識、危機感を持ち、全員で取り組んで行くことが必要不可欠でありまた、会員各々が、総社青年会議所の魅力、価値を改めて理解し、総社青年会議所をしっかりとアピールする事により、これまで諸先輩方が築いてこられた、我々の学び舎、総社青年会議所を今後もしっかりと次世代に繋いで参りましょう。

～さいごに～

“人は人の為に生きてこそ人”という言葉がございます。

この言葉は、戦国武将 豊臣秀吉が天才軍師 竹中半兵衛を説得する際に用いた言葉と聞いております。

この言葉には続きがあり一人の血も流さず民百姓が安楽に暮らせる世にすることが、我々武士の仕事ではなかろうか。

この言葉に感動した半兵衛は、美濃の民百姓の為に、争いを避ける為に、秀吉の誘いを受けました。

会員の皆様に於かれましては、我々が総社青年会議所に在籍が出来、学びを得られているのは紛れもなく、家族、自身を支えてくれている方々、自身を取り巻く環境があるからだと私は感じます。

その思いに応えるのは、皆様の成長こそが自身を日々支えて頂いている皆様への恩返し、“愛”だと思いますので、2021年度、共に切磋琢磨し、成長して参りましょう。

一年間どうぞよろしくお願ひ致します。